


ふりがな 氏名	せき たかひろ 関 貴大	都道府県	東京都	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学創造理工学部環境資源工学科 ・学生NPO農楽塾 			
私のESD活動	都会における気軽な農作業体験によるSDへの意識の触発			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

■私は、大学でのサークル活動としての農業を行っています。活動内容としては、新宿区という日本有数の都会の中にある大学構内における農作業、主に稲作です。東京の多くの子供・学生たちは、都会で生まれ育ち、自然と触れ合う経験をしたことがないという人が多いです。ましてや農作業を経験したことのある人はほぼいません。そこで、私達の団体は、大学構内に田んぼ・畑を作り、早稲田大学の学生、あるいは近隣の子供たちに農業を手軽に体験してもらう活動を行っています。現在、環境破壊、食料不足など、様々な問題が騒がれていますが、都会で生まれ育ち、不自由なく暮らしてきた人たちは、そういったことに関心を持つきっかけすらありません。そこで、都会で生活しつつも手軽に農作業を体験してもらうことで、自然と触れ合うことの心地よさ、そして食べ物を生産することの苦労を実感してもらうきっかけ作りを行っています。実際に農作業体験した人に話を聞いてみると、「食べ残しが減った」などの声を聞くことができ、ESDとしての成果が出ていると考えられます。

■私はイオン環境財団主催の環境フォーラムに日本代表として二度参加しました。そこでは、中国・ベトナムにおいてアジア各国の学生と共にフィールドワークを行い、環境について議論を行いました。また、UNESCO/APCEIU のプログラムの一環として日中韓ユースフォーラムに参加しSDに関して話し合いました。これらの国際プログラムを経験し、日本と海外における環境意識の違い、またお互いの文化を知り、協力し合うことの大切さを実感しました。帰国後、異文化理解、また対日文化理解の促進のため、大学内の国際イベントに参加し、外国人留学生に日本語を教える活動等を行っています。

○「学生NPO 農楽塾」 <http://www.nogakujuku.net/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思えますか？

私は、自分のESD活動をさらに深めるために、都会の子供たちに農作業を体験してもらう機会をもっと提供したいと考えています。農作業を通じて、食べ物を作ることの大変さ、自然と触れ合うことの心地よさを実感し、食べ残しを減らすとともに、環境を破壊することに対するためらいの心を持ってほしいと思っています。現在の日本では、豊かな暮らしができるため大量生産・大量消費を行っています。発展途上国では、食べ物や日用品をととても大切にしています。私たちが簡単に捨ててしまうようなもの、コンビニで簡単に手に入れられてしまうようなものでも、発展途上国の人々にとっては手に入れることが難しいのだということ。そして、同年代の子供たちが、学校に行きたくても行けず、過酷な仕事を行っているということ。現代の学校で教えるべき事実であるにもかかわらず教えられていないこれらの事実をドキュメンタリーや写真など、子供たちにとってインパクトの残るかたちで、学校で放映したいです。また、ESDにおいて最も重要であるのは「体験」であると考えられますが、発展途上国の暮らしを実際に体験してもらうことは難しいです。しかし、ESDを行う立場となる私たちですらも、そのような「体験」をしていないとなると、机上の空論となってしまいます。したがって、個人的にでも発展途上国に出向き、そこでの暮らしを「体験」しに行きたいと考えています。